

2026.5.21 (木)
第 43 回例会
(通算3852回)

2025-2026 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」

会 長 荒井 剛
副 会 長 池田 一己
幹 事 横田 英喜
編集責任者 クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2025-2026 年度
国際ロータリーテーマ

『よいことのために手を取りあおう』
UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度
RI 会長 フランチェスコ・アレツォ
第 2500 地区ガバナー
佐渡 正幸 (釧路北 RC)

本日のプログラム ライラセミナー報告 / グローバル補助金事業報告 (青少年奉仕委員会)

次週例会 嵯峨記念奨学生新入生報告 / 新入会員歓迎会 (嵯峨記念育英会委員会・親睦活動委員会)

- ロータリーソング：我らの生業 ■ソングリーダー：桑島 洋平君
- 会員数 106 名
- ビジター
- ゲスト (株)山拾村上商店 泉 恵様・吉田 早良様

会長の時間 荒井 剛会長



皆さん、こんにちは。先週末の土日に山花リフレでライラセミナーが開催されました。そこに当クラブの会員である村上さんに所属されているお二方が参加されて、この後お話をさせていただきます。引率は青少年奉仕委員会の岩田さんに引率していただきました。ありがとうございました。

本来であれば、私も出席したかったのですが、土日は当クラブで取り組んでいるグローバル補助金の関係で、タイでの贈呈式に参加してまいりましたので、残念ながら山花リフレのほうには参加できなかったのです。

グローバル補助金の贈呈式に関しては、この後、横田幹事がたっぷりとお話をさせていただくと聞いておりますので、事業内容については、彼はあまりわかっていないと思いますので私が説明をします。それ以外のことについては彼に話をさせていただこうと思っております。

今回のグローバル補助金は、これまでと違って、当クラブとタイのクラブだけではなくて、帯広西クラブと一緒にやって参加してまいりました。ですので、帯広西クラブから4名、当クラブから私と横田幹事、東堂国際奉仕委員長、吉田英一さん、舟木さんと土橋さんの6名、帯広と一緒に合計10名で参加してまいりま

した。事業内容としては、バンコクから西側に120キロぐらい離れている所のラチャブリで、海はなくて農村部ですが、郊外の病院では妊婦さんのエコー検査機器が足りなくて、元々1台あったのですが故障したので、それを導入したいということで今回導入してまいりました。それが今回のグローバル補助金の事業の内容です。

その後で、タイのガンチャンロータリークラブと一緒にやっていたのですが、ガンチャンロータリークラブは20年来、足を切断した人に設置する義足プロジェクトをやっております。20年間で500足ぐらい寄付をし続けているというのです。今回もエコー検査機器を導入する贈呈式の後に、義足を贈呈するプロジェクトに私も一緒に参加して義足をつけさせていただいたのです。

「何でそんなに義足が多いのかな、義足になる原因は何ですか、交通事故が多いのですか」と現地のロータリークラブの人に聞いたのです。そうではなくて、糖尿病による合併症なのです。タイではいろんな問題があるのですが、糖尿病の合併症の治療が上手くいかなくて、壊死して膝下を切断して義足になるというパターンが多いと聞いてきました。

タイ自体も経済が大きくなって成長しているとはいえ、医療分野では郊外に行くと、そういった方が多いということを目の当たりにしました。

最後に一点、タイに行って今年も、最終日はドリアンパーティーといって、「ドリアンをぜひ食べてくだ

さい」ということで食べました。去年も食べたので私は2回目なので、だいぶ慣れてきて美味しく感じたのですが、東堂さんは、一口食べて「もう、いいです」と。昨年、一緒に行っていた高橋パスト会長も、一口食べられて「もう、いいです」と話されておりました。が、僕は、2回目で美味しく感じたのです。

昔、マレーシアのボルネオ島で食べたドリアンが臭くしょうがなく、それを覚えていたので、タイで食べたドリアンが美味しかったのですよ。それで、タイの人に「マレーシアのドリアンとは違いますか」と聞くと、「全然違う。一緒にするな」と言われて、調べてみたら、種類も違うのですが収穫方法が全然違うのです。タイでは、完熟する前の未熟の状態でもぎ取ります。まだ新鮮で、その匂いが収まっている。日本に輸入されているのは、多分タイからのドリアンなので、そこまで匂いがなく、それにしても臭いのです。マレーシアのは逆で、完熟しきって木から自然に落ちた物を食べる。なので、すごくクリーミーと聞こえはいいですけど、その分臭いのです。

皆さんにもドリアンを食べていただきたいと思いますが、マレーシア産とタイ産で違うので、両方比べていただいて、どちらか食べていただければと思います。

最後に帯広西のバナーとガンチャンロータリークラブのバナーを交換しましたのでこのように披露させていただきます。

これで会長のあいさつを終わらせていただきます。

幹事報告 横田 英喜幹事

幹事報告をさせていただきます。事務局からメールを流させていただいております。先週の例会でもお伝えしました野遊会の連絡です。

6月6日の第1週ですけれども、昼例会ではなくて夜例会のアッセンブリーになります。ですので、出欠が必要になりますので皆さん忘れずに連絡をいただければと思います。

本日、キャンドルパーティーの案内も流させていただきましたので、皆さんふるってご参加いただければと思います。以上となります。

新入会員紹介

スポンサー 高橋 直人君



任で小林恵介様です。

それでは、新入会員のご紹介をさせていただきます。先月、転勤されました一般社団法人北海道でんき保安協会釧路支社長・川島さんの後

入会に当たりまして私をご紹介させていただきます。ご趣味は、ゴルフをされるということで、ハンディは書いていません。あと、麻雀はしないということです。ご家族は、息子さんは全部巣立ったそうです。前任の川島さんは、私の年度のときに副幹事をやっていただき、ロータリーでは大活躍でやられておりました。小林さんも出席を義務と思わず権利と思い、できる限り出席していただき、ロータリーライフを楽しんでいただければと思います。釧路の夜もいろんなお店をたくさんの方の会員の方もやっておりますので、ぜひとも夜のお店も行っていただければと思います。それでは、小林さんからお願いいたします。

新入会員あいさつ

一般財団法人北海道でんき保安協会釧路支部長

小林恵介様



ただいま、ご紹介いただきました小林と申します。一般財団法人北海道でんき保安協会、釧路支部に勤めております。

前任の川島の後任で

配属させていただきました。この度、歴史と伝統のある釧路ロータリークラブの入会に際しまして、承認いただきまして厚くお礼申し上げます。貴重な経験をさせていただく機会をいただきまして大変光栄でございます。

今までロータリークラブの経験はありませんので何事も初めての経験となります。いろいろとご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導ご鞭撻をいただきまして、成長できればと思っております。

今まで諸先輩方の歴史と伝統を汚さぬように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

スポンサー 西村 智久君



それでは、橘啓介さんのご紹介をさせていただきます。見てのとおり、歴代の大地みらい信金さんとはちょっと雰囲気が違う、都市銀行の支店長みたいな支店長がいらっしゃいました。ご家族は、息子さんは独立していて、奥さんと2人暮らしです。

ご趣味は野球観戦と書いております。どこがファンかはわかりません。ゴルフはするということですが、ハンディが30というので、大したことはないということです。ただ、飛ぶと言っていたので、あちらに

いる、あの方と同じタイプだと思いますので、飛ぶだけ飛ぶということらしいです。
前任者が大変クジ運のいい方で、大した大物を3回のうち2回釣っていますので、こちらも多分運がいいのではないかと期待をしております。
見かけが本当にかっこいい二枚目の方でモテルと思いますので、くれぐれも末広界限では注意してください。大変将来性のある優秀な方でありますので、皆さま方、存分に遊んでやっていただきたいと思います。
では、どうぞ。

新入会員あいさつ

大地みらい信用金庫釧路支店支店長 橘 啓介様



ご紹介に与りました大地みらい信用金庫釧路支店支店長の橘と申します。本日は伝統と歴史ある釧路ロータリーに加入させていただき、誠に

ありがとうございます。

右も左もわからないというよりは、釧路には3回目になります。年数が短くいたものですから、皆様のご支援とご鞭撻が必要と思います。ぜひ、いろいろと夜のほうも誘っていただければと思いますので、どうぞお願いいたします。ありがとうございます。

歓迎のご挨拶

荒井 剛会長

小林さん、橘さん、ようこそ。釧路ロータリークラブに入会おめでとうございます。

右も左もわからないという話がありましたが、私もですけど、皆さんも入った時は皆さんそうなのです。ロータリークラブは、参加すればするほど楽しい所だと思っております。任期というのがあるかもしれませんが、その任期中に釧路での生活が少しでも楽しい生活になればと思っております。

可能な限り例会などに参加していただいて、夜間例会もありますので、ぜひぜひ参加してください。

お二人の配属委員会は親睦委員会とと考えております。親睦委員会のメンバーと日々、交流をしていただいて、またロータリーの例会にも参加していただければと思っております。

本当に入会おめでとうございます。

■本日のプログラム■

ライラセミナー報告 / グローバル補助金事業報告

■ライラセミナー報告

青少年奉仕委員会 岩田会員

皆さん、こんにちは。5月16日土曜日、17日日

曜日の2日間、山花温泉リフレにて第42回ライラセミナーを行いました。東北道各地区から20代の若者とロータリーメンバー約90名が参加されました。



釧路ロータリークラブからは村上商店の職員であります吉田さんと泉さんが参加されました。

1泊2日のライダーセミナーに参加していただいたお二人から、感想をお話していただきたいと思っております。最初に吉田さんからお願いいたします。よろしく願いいたします。

(株)山拾村上商店 吉田 早良様



それではご報告させていただきます。株式会社山拾村上商店、入社4年目の吉田と申します。よろしく申し上げます。

5月16日、17日の2日間で行われたライラセミナーに参加しました。正直、前日の夕方まで詳しいスケジュールが送られてこず、何が行われるのかもわからず、社長も何も教えてくれなかったもので、とても不安でいっぱいの中での参加でした。

私はこのセミナーで、仲間、友情、つながりの大切さを学びました。

最初のセミナーでは、海岸でのゴミ拾いを例に、たくさん集められたゴミとゴミ拾いに参加した人たちの写真が映し出され、一人では広い海岸のゴミ拾いは大変だけれど、仲間がいれば楽しく綺麗にできることがわかりました。

私が特に印象に残ったことは、グループでの活動です。年齢、性別、出身と全て違う人たちが初対面の状態でグループワークをするということは、人見知りの私にはとても不安でした。

しかし、グループ活動で最初に「住みやすい街づくり」をテーマに、ブレインストーミングとKJ法をしたときにはコミュニケーション能力の高い人たちが進行をしてくれて、人見知りの私も発言しやすく、良い雰囲気ですムーズに進むことができました。

そして、1回目の懇親会は外でバーベキューをしました。お互いの年齢等もわかり、周りの人たちとも少し緊張がほだけ、コミュニケーションをとることができ、楽しい食事をすることができました。

2回目の懇親会では、室内でモルックを行い、私達のチームは1勝しかできませんでしたが、1点でも取る

ことができれば、ハイタッチをしたり、声を掛け合ったりして協力できる良いグループでした。初めは不安だったセミナーでしたが、とても良い仲間恵まれ、すごく充実した時間だったと思います。私はこのライラセミナーをとおして、私と同じような人見知り性格の人たちが集まるだけではうまくいかない、年齢も性別も性格も全てが違う仲間と協力することの大切さや人とのつながりの大切さを改めて感じることができました。この経験を生かしてコミュニケーションをとり、多くの人と協力していきたいです。ありがとうございました。

(株)山拾村上商店 泉 恵様



5月16日、17日の第42回ライラセミナーに参加させていただきました村上商店の入社9カ月目の泉と申します。本日はよろしくお願

いたします。

発表の前に、私事で大変恐縮なのですが、少しだけお話をさせてください。実は、今、お話していただいたとおり、セミナーの当日5月16日は誕生日でした。家でゆっくりケーキ食べたかったなという本音をぐっところえて、日ごろお世話になっている社長のためと恩返しのためで参加いたしました。

でも内心、きっと社長は私の誕生日なんて知りもしないだろうと、少し寂しく思っていたところ、セミナー後のバーベキューで突然28という数字がばっちり刺さったケーキが登場し、ロータリアンの皆さまから盛大なロータリアン流バースデーソングのプレゼントをいただきました。正直この年齢になってこんなに素敵なサプライズで祝いしてもらえるなんて夢にも思っていなかったもので、本当に嬉しかったです。社長を疑ってすみませんでした。

ロータリアンの皆さま、最高の思い出をありがとうございました。本日はその感謝の気持ちを込めて、この後の発表をまじめに務めさせていただきます。

それでは本題に入ります。私はこれまで人の役に立ちたいという思いはあったけれど、具体的に何をすればいいかわからず、実際に行動することができていませんでした。しかし、今回のセミナー1で、山岸弘典社会奉仕委員長のお話を伺い、奉仕活動に対するイメージが大きく変わりました。ボランティア活動だけでなく、自分にできることを少しずつ実践することも立派な奉仕であり、それが誰かの役に立ち、次の気づきに繋がっていくのだと学びました。

また、一人でできることには限界があり、同じ思いを

持つ仲間の存在がとても大切であるということも深く実感いたしました。

グループワークでは、「住みたいと思う街づくり」について話し合いましたが、実際に一人では思いつかないようなアイデアや考え方に触れ、視野が広がり、様々な可能性も広がるのがわかった大変貴重な時間となりました。

大人になってから様々な職業の方と交流できる機会は本当に貴重だと思います。最初は、不安でドキドキだったけど、ロータリアンの皆さまが明るく温かい雰囲気を作ってくれたおかげで緊張がほぐれ、他の研修生の方々とすぐに仲良くなることができました。人脈も広がりましたし、何より楽しかったです。

社長のためと思って参加したセミナーでしたが、結果的に自分自身を大きく成長させてくれる最高の経験をさせていただいたと深く感謝しています。

この2日間で得た学びとつながりを今後の活動や業務に生かしていきたいと思

います。以上です。ありがとうございました。

青少年奉仕委員会 岩田会員

ありがとうございます。次年度は中標津で開催されます。

以上、ライラセミナーの報告を終わりとさせていただきます。

ありがとうございます。

■グローバル補助金事業報告 横田 英喜幹事



お二人の立派な発表の後に、ハードルが上がってしまって緊張しております。

私からは、今週の日曜日と月曜日に公式

に開催されましたグローバル補助金のタイのラチャプリで行われた県立病院に対するエコー検査機器の補助金事業についてです。

真面目な具体的な部分については先ほど新井会長がおっしゃっていただきましたので、行った時の雰囲気を紹介できればと思

いと思います。参加者は、先ほどもありましたけれども、釧路クラブからはこの6名です。今日来ている参加者は荒井会長と自分です。他の方々、今日の朝に到着したとかで、まだ来てないというところ

です。帯広の皆さんも、前泊の土曜日に入って、月曜日に一緒に戻って来た方々になります。森会長、中川副会長、所グローバル補助金グループに属している方、石原親睦活動委員会。その後ろの中川

さん、所さん、石原さんにつきましては鉏路クラブにも参加されていますので雰囲気はわかっておりましたけども。この写真は、着いた朝です。自分たちは、先週の例会の後、夜7時の最終便のJALに乗って東京に着いて、1時半に東京の羽田を発って、朝6時にバンコクに着きました。夜に出たら朝着くというなんて近い所だろうということでした。

具体的な中身です。現地集合現地解散の企画でしたので、ホテルの集合時間に集合場所に行きますと、現地の方々に出迎えていただきました。こういうポスターにそれぞれの名前まで入れたものを作っていて、歓迎を受けております。現地の方、女性の方、これは出迎えていただいたタイの方です。

これは鉏路クラブ全体としての写真です。一番左側の方、記憶にある方いらっしゃいますか。実はですね、去年の10月25日、地区大会で鉏路に来ていただきました。鉏路ナイトでタイから3名来たうちの1人、今のロータリーの3330地区のガバナーになります。そのときの写真です。これはタイの写真ではなくて、一番右側に潤司さんがいらっしゃいます。地区大会でキャッスルさん行われた時の写真で、ガバナーです。

タイに戻ります。皆さんは荒井会長とは10年来の付き合いということで、元々はプーケットのクラブの方なのですが、わざわざ来ていただいている状況です。

こちら、左側から所さん、副会長の中川さん、石原さんです。もう1人いないかなと思ったら、真ん中にいる方が森会長さんです。

ちょっと硬い顔しているのです。集合時間が2時でしたけども、午前中に市場に行って財布をすられて、現金やクレジットカードと免許証がなくなって、ショックを受けて硬い顔をしています。やっとポスターを見て、にこやかになっている、そんな状況になります。

バンコクで集合して、そこからラチャプリまで1時間半、120キロ、ハイエースの10人乗り2台に分かれて、5人ずつ乗って結構ゆったりした旅でした。

これはバンコクの街中はこんな感じの雰囲気です、ずっと続くわけですよ。続いてしまうと、寝てしまいますよね。藤堂さんは朝に到着して昼に集合でしたので、ちょっと辛い思いをしていました。車を乗って2時間半でホテルに到着しました。

これはラチャプリのホテルです。手元を見ていただくと分かるのですが、タイの方は、出迎えの時に生の花の飾りを皆さんに準備していただいて、それがすごく良い香りがする、すごいお出迎えをしていただいたという思いがあります。

ホテルの自分の部屋から見たホテルの外の雰囲気です。水田ですね。タイ米を栽培している。結構な田舎なのかなと思いつつ、調べてみたらラチャプリは

80万人ぐらいがいるというので、郊外のホテルを取っていただいたという感じでした。

ホテルに着いてから1時間半ぐらいの6時半からウェルカムパーティーでしたが、舟木さんが「ある所に行きたい」と言われて移動した雰囲気の服です。どこに行っているかわかりますか。「タクシーを呼んで、連れて行け」と言われて手配しています。1時間しかないのに行って、犬も「何をしに来たのだろう」という感じ。何をやっているかという、釣りでした。「釣り堀に連れて行け」と言われて、残り1時間しかないの、休んでもいないのに大丈夫かなと思いつつ。釣り堀で一瞬、釣れたのですけれども、逃げられたのですね。「早く巻かなきゃ駄目なんだよ。惜しかった」。釣れたら1mぐらいのナマズがいて、エサが何かの塊でどのぐらいの餌ぐらいで、相当なものが釣れるはずだったので、何もなくて、30分しか釣ることでもできずにホテルに帰ってきました。

ここからはウェルカムパーティー、前夜祭です。一番右側の黒い方は、パストガバナーで、通訳兼で来ていただいていた。隣の青い服を着ている方が、タイのクラブの会長さんです。こちらから持って行ったお土産物を渡して、あまりウケないですね。挨拶をしていますよ、という感じで、バナーを交換しました。

森さんとも同じようにバナーを交換して、それを見ているメンバーです。見ていただくとわかりますけども、青い服を着ている方が向こうのクラブの方で、かなり女性の比率が高いのです。聞くところによると、3330地区は女性の比率が48%ということで、こちらとは感覚が違うんだなと思いました。

こうしてプレゼントの交換をして、ご飯を食べて、始まるのがやっぱり宴会です。後ろにチラッと写っているのですけれども、向こうの女性の名前はオンちゃんという話でした。ご飯を食べながら始まるのは、カラオケをしながら踊るのが向こうの文化らしくて、歌なんか誰も聞いていなくて自分たちだけでも盛り上がり、手に手をつないでみたいいな感じなのでしょうかね、訳がわからなくバレエも雰囲気も一発で終わっています。そんなことが行われて、もう輪になってペアになって、日本でいう盆踊りみたいなタイ版をやっている感じ。こんなことやっていると本番に行けなくなってしまうのですが、面白いのはこの辺なので。大丈夫かなと思いつつ延々と続くわけ。こんな感じで終わりましたよ、となります。

全体で写真を撮りました。これで前日の夜は終わりました。

これ、新井会長が好きだろうという、自分の部屋から撮れた鳥の写真を撮ってみました。

先ほどの現ガバナーと荒井会長が朝食と一緒に食べている様子になります。

向こうのグローバル補助金事業で、「サンゴ礁が枯れてしまったので、グローバル補助金で海に魚礁を沈めましょうと行って、こんな感じになりました。これを3年計画でやっている」という話を朝、荒井会長と向こうのガバナーが話していました。

今の話に戻ります。これが贈呈式になります。向こうの会長とガバナーが仲良く喋っていたので写真を撮ってしまったのです。

これがスクリーンに映されているのですけれども、エコーの検査機器を贈呈しました。日本円でいうと600万円ぐらいのものを3クラブで寄付をしています。まず院長さんの挨拶、ガバナーの挨拶、うちの荒井会長の挨拶。向こうの婦人科のエコー検査機器なので、婦人科部長さんの挨拶を受けています。岡山出身、岡山で研修したことがあるという話を聞いています。こんな機械ですよ、と全体で写真を撮りました。これはロータリークラブ中心ですけども、病院関係者も入れますと、60人ぐらいの方が集まって、こういう会を開いたことになります。

先ほど新井会長が言っていました。タイのクラブの義足の贈呈式に荒井会長も参加しています。

これ、先ほどスクリーンを撮ったのですけれども、自分は英語もタイ語もわからない中でどういうふうに向こうで生活するかというと、自分のスマホの少しスクリーンショットです。「Goggle レンズ」でタイ語から日本語に変換すると、あっという間にタイ語が日本語に翻訳されます。これがあれば言葉なんかいらぬぞということで生活していました。

帯広の中川副会長は薬剤師なのですけれども、お腹を壊してしまいまして、この病院で薬をもらって喜んでいう写真です。

タイの式典の後の懇親会で、またご飯を食べさせていただいて、先ほど言っていたドリアン、この会場の3分の2ぐらいの広さですけど食事が出てないのに、入った瞬間に正直匂いました。やはり隅にこれが何個も置いてあって、匂いは確かに少ないのですけれども、匂いはします。このお2人は「ドリアン食べてから6時間前後はお酒を飲んではいけない。吐き気がしてしまうよ」と言って、食べていなかったかもしれないですけども、このお2人は一口程度。舟木さんもそんな食べなかったですけども、荒井会長はかぶりついでい

ます。現地の皆さんも、かぶりついでいます。

自分は地図でラチャブリはどこにあるのかなと思ったら、GPSの木で、一番右上に、バンコクの「バ」と書いているのですが、こちら辺りに来ていましたよ、という感じになっています。

これ空港まで送っていただいたのですけれども、お金を受け取っていただけなかったのです。現地の1泊のホテルだったので、それは申し訳ないなということで、参加者1人に2万円ほどクラブと地区からお金が来ていましたので、1万円を現金としては渡せないの、荒井会長と相談をして、義足のために寄付をしますという形で寄付をさせていただきました。

すると、封筒から出された現金を並べてみんなで写真を撮っています。ちょっと文化の違いができています。

雑駁ですけど、時間過ぎましたのでこれでグローバル補助金の説明をさせていただきました。ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 荒井 剛君 無事タイから戻ってきました。今年もドリアン食べました。
- 横田 秀喜君 無事火曜日の朝、タイより帰国しました。貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございます。

今年度累計 433,420 円